

ダイアモックス注射用 500mg

【この薬は？】

販売名	ダイアモックス注射用 500mg DIAMOX for Injection 500mg
一般名	アセタゾラミドナトリウム Acetazolamide Sodium
含有量 (1バイアル中)	アセタゾラミドナトリウム 550mg (アセタゾラミドとして 500mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、炭酸脱水酵素抑制剤と呼ばれる薬です。
- ・この薬は、生体内の炭酸脱水酵素の作用を抑制することにより、種々の作用をあらわします。
- ・次の病気の人、または次の目的で、医療機関で使用されます。

緑内障、てんかん（他の抗てんかん薬で効果不十分な場合に付加）、肺気腫における呼吸性アシドーシスの改善、メニエル病及びメニエル症候群

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にダイアモックス注射用に含まれる成分やスルホンアミド系薬剤で過敏症のあった人
- ・無尿の人

- ・急性腎不全の人
 - ・肝硬変等の進行した肝疾患又は肝臓に高度な障害がある人
 - ・高クロール血症性アシドーシス、体液中のナトリウム・カリウムが明らかに減少している人、副腎機能不全・アジソン病の人
 - ・慢性閉塞隅角緑内障の人には、この薬を長期間使用することはできません
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
- ・重篤な冠動脈硬化症又は脳動脈硬化症の人
 - ・糖尿病又は耐糖能異常がある人
 - ・レスピレータ等を必要とする重篤な高炭酸ガス血症の人
 - ・減塩療法を実施中の人
 - ・腎臓に重篤な障害がある人
 - ・肝臓に障害がある人
 - ・妊婦初期または妊娠している可能性がある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

●使用量および回数

使用量、使用回数、使用方法等は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

通常、成人の使用量および回数は、次のとおりです。

〔緑内障〕

1日量	250mg～1g
使用回数	1日量を分けて静脈内又は筋肉内注射する

〔てんかん（他の抗てんかん薬で効果不十分な場合に付加）〕

1日量	250～750mg
使用回数	1日量を分けて静脈内又は筋肉内注射する

〔肺気腫における呼吸性アシドーシスの改善〕

1日量	250～500mg
使用回数	1日1回静脈内又は筋肉内注射する

〔メニエル病及びメニエル症候群〕

1日量	250～750mg
使用回数	1日1回静脈内又は筋肉内注射する

・夜間の休息が必要な人は、夜間にトイレに行く回数が増えるのを避けるため、午前中に使用することが望ましいとされています。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使い続ける場合、電解質異常があらわれることがあるので定期的に血液検査が行われます。
- ・重篤な血液の障害等があらわれることがあるので、定期的に血液検査が行われます。
- ・血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械を操作する際には注意してください。
- ・妊婦初期または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
代謝性アシドーシス たいしゃせいアシドーシス	頭痛、眠くなる、意識の低下、深く大きい呼吸
電解質異常 でんかいしつじょう	体に力が入らない、体が動かせない、息苦しい、お腹が張る、吐き気、頭痛、嘔吐（おうと）、けいれん、意識の低下
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
急性呼吸窮迫症候群 きゅうせいこきゅうきゅうはくしょうこうぐん	息苦しい、呼吸が浅くなる、咳、痰、呼吸がはやくなる、脈が速くなる、手足の爪が青紫～暗紫色になる、唇が青紫色になる
肺水腫 はいすいしゅ	息苦しい、息をするときゼーゼー鳴る、咳、痰、呼吸がはやくなる、脈が速くなる、横になるより座っているときに呼吸が楽になる
急性近視 きゅうせいきんし	普段見えていた遠方が見えにくい、目のかすみ、視力の低下
閉塞隅角緑内障 へいそくぐうかくりょくないしょう	目の充血、目のかすみ、視力の低下、視界の中に見づらい部分がある、霧がかかったような見え方、目の痛み、視野が欠けて狭くなる
脈絡膜滲出 みやくらくまくしんしゅつ	普段見えていた遠方が見えにくい、目のかすみ、視力の低下

重大な副作用	主な自覚症状
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、体がだるい、息切れ、動悸、あおあざができる、出血が止まりにくい、発熱、寒気、喉の痛み
溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	体がだるい、めまい、息切れ、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
骨髄機能低下 こつずいきのうていか	発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸、息切れ
白血球減少 はっけきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、唾液、痰に血が混じる、血を吐く、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
血小板減少性紫斑病 けっしょうばんげんしょうせいしはんびょう	鼻血、唾液、痰に血が混じる、血を吐く、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
中毒性表皮壊死融解症 (TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゅううかいしょう (テン)	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
腎・尿路結石 じん・にょうろけっせき	腰痛、背中の痛み、腹痛、尿が赤みを帯びる
精神錯乱 せいしんさくらん	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
----	------

部位	自覚症状
全身	体に力が入らない、体が動かさない、けいれん、冷汗が出る、ふらつき、体がだるい、出血が止まりにくい、発熱、寒気、突然の高熱、むくみ、顔や手足の筋肉がぴくつく、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、体がかゆくなる
顔面	顔面蒼白、鼻血
頭部	頭痛、眠くなる、意識の低下、めまい、意識の消失、頭が重い、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない、一時的にボーっとする
眼	普段見えていた遠方が見えにくい、目の充血、目のかすみ、視力の低下視界の中に見づらい部分がある、霧がかかったような見え方、目の痛み、視野が欠けて狭くなる、白目が黄色くなる、目の充血やただれ
口や喉	吐き気、嘔吐、喉のかゆみ、咳、痰、唇が青紫色になる、喉の痛み、唾液、痰に血が混じる、血を吐く、歯ぐきからの出血、唇や口内のただれ
背中	腰痛、背中の痛み
胸部	深く大きい呼吸、息苦しい、動悸、呼吸が浅くなる、呼吸がはやくなる、息をするときゼーゼー鳴る、横になるより座っているときに呼吸が楽になる、息切れ
腹部	お腹が張る、腹痛、食欲不振
手・足	手足が冷たくなる、脈が速くなる、手足の爪が青紫～暗紫色になる、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、あおあざができる、皮膚が黄色くなる、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る、尿が赤みを帯びる

【この薬の形は？】

販売名	ダイアモックス注射用 500mg
-----	------------------

形状	<p style="text-align: center;">用時溶解して用いる注射用製剤</p> 
性状	白色の結晶性の粉末又は塊

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ダイアモックス注射用 500mg
有効成分	アセタゾラミドナトリウム
添加剤	水酸化ナトリウム、塩酸

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
 製造販売会社：株式会社三和化学研究所 (<https://www.skk-net.com/>)
 電話番号：0120-19-8130
 受付時間：9時～17時（土、日、祝日、その他休業日を除く）